

## 慶應義塾大学大学院 文学研究科 修士課程

### 図書館・情報学専攻 情報資源管理分野

#### 3つのポリシー

##### 【ディプロマ・ポリシー】

図書館・情報学専攻情報資源管理分野修士課程では、課程修了時に学生が修得すべき能力として以下のものを定め、学則に定める修了要件を満たした場合に修士（図書館・情報学）の学位を与える。

1. 図書館をはじめとする情報サービス機関・部門および情報関連業務において中核的な専門職として活躍するため、図書館・情報学分野の体系的な専門知識を学び直し、それらの知識を実際の業務に活かすことができる。
2. 図書館・情報学分野において、キャリア等から導かれた問題意識に基づき研究テーマを設定し、修士論文を執筆し、関連領域で専門的な成果を発表できる。
3. 図書館・情報学分野における重要な問題や課題を認識し、それを解決していくための高度な情報リテラシー能力と実践的な研究能力を有する。

##### 【カリキュラム・ポリシー】

図書館・情報学専攻情報資源管理分野では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として以下のカリキュラムを編成する。

1. 修士課程の全在学期間を通じて履修可能な、少人数の発表と討議を主体とする科目を設置し、32単位以上の科目の修得と修士学位請求論文審査に合格することを修了要件とする。
2. 情報資源管理分野のカリキュラムは、図書館経営、図書館サービス、情報メディア、情報検索に関する科目群を主体とし、同時にアカデミックスキル修得のための科目を設置し、学生の自由な選択を可能とする。
3. 修士論文の執筆を可能とするため、修士論文指導のための科目を設置し、指導教員の個別論文指導と研究会での討論を通じ、研究テーマについての知識を深めるとともに、研究能力および論述力を養う。また、専攻全体の修士論文中間報告会等の開催を通じて、複数の教員から指導を受ける機会を提供する。
4. 修士論文審査については、論文題目および主査（原則として指導教員）および2名の副査（専任教員）で構成される審査団の文学研究科委員会による承認、審査団による論文審査、審査団および関連研究領域の教員による口頭試問を経て、最終的な

審査結果を文学研究科委員会で審議、承認する。

5. 海外の大学院への正規留学によって取得した単位を、単位数を限って修了要件に含めることを認める。また、文学研究科独自の支援制度により留学を援助する。
6. 海外への留学をはじめとし、より柔軟な履修を行えるように、全ての科目は半期科目として開講する。
7. 領域横断的な研究を可能とするために、慶應義塾大学大学院の他研究科および附属研究所の設置科目、さらに文学研究科と提携関係にある他大学院の設置科目を修了要件として履修することを、単位数を限って認める。

### 【アドミッション・ポリシー】

図書館・情報学専攻情報資源管理分野修士課程では、次のような資質を持つ学生を求めている。

1. 図書館、情報サービス機関、その他情報関連職におけるキャリアもしくは司書資格を有し、その経験や資格に基づき図書館・情報学研究に関する問題意識を有している。
2. 大学院において図書館・情報学の専門的な知識やスキルを修得することが、今後の自分のキャリアにどのように活かしていけるかについて、具体的な計画をまとめることができる。
3. 図書館・情報学分野において課題解決能力、実践的研究能力、修士論文を執筆する能力を修得することの重要性を深く認識し、それら能力を修得することに強いモチベーションを有している。
4. 修士課程修了後のキャリアについて、積極的に考えている。